［略］

o　平成26年から平成28年までの各年における転出者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅳ

M＝155.04×（q－p）＋δ

算式Ⅳの符号

［略］

q　平成27年1月1日現在、平成28年1月1日現在及び平成29年1月1日現在における年少者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

δ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあっては2.46とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては3.28とし、町村にあつては3.51とする。

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数が3を超える場合は3とする。）

算式Ⅴ

N＝｛0.32×（s－r）＋1.34｝＋（0.14×s－5.43）

｛0.32×（s－r）＋1.34｝に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合は3とし、1に満たない場合は1とし、（0.14×s－5.43）に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が1を超える場合には1とし、負数となるときは0とする。

算式Ⅴの符号

r　住民基本台帳関係年報に登載された平成15年3月31日現在における出生数を、15歳から19歳までの女性人口に0.153を乗じて得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）、20歳から24歳までの女性人口に0.982を乗じて得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）、25歳から29歳までの女性人口に2.303を乗じて得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）、30歳から34歳までの女性人口に2.217を乗じて得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）、35歳から39歳までの女

［同左］

o　平成25年から平成27年までの各年における転出者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

M　次の算式Ⅳによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅳ

M＝163.93×（q－p）＋2.82

算式Ⅳの符号

［同左］

q　平成26年1月1日現在、平成27年1月1日現在及び平成28年1月1日現在における年少者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

N　次の算式Ⅴによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。）

算式Ⅴ

N＝0.90×（s－r）＋3.62

算式Ⅴの符号

r　平成14年度から平成16年度までの各年度における自然増減率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）